特記仕様書　（木工事）　軸組工法

部　位	

2階床梁　胴　差　け　た

材 種

□ ひのき　□ べいひのき　□ たいわんひのき　□ あかまつ　□ くろまつ　□ からまつ　□ べいまつ　□ べいつが

□ 構造用集成材　欧州赤松　□

工　法　1. 断面寸法は、荷重の状態、スパン、梁間隔等を勘案して構造計算等により適切なもの特記する。

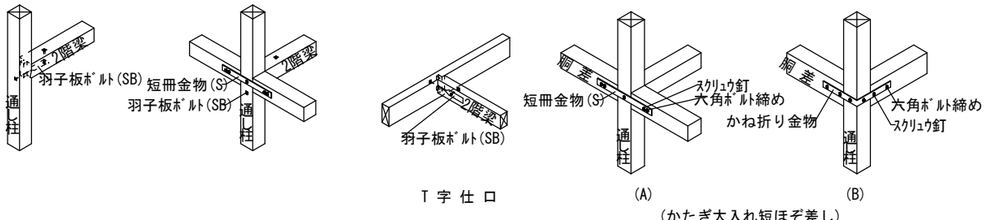
2. 継手は梁を受ける柱間を避け、柱より150mm内外持ち出した位置に設ける。

3. 横架材の中央部分付近の下側に耐力上支障のある欠込みをしてはならない。

4. 柱又は、横架材との仕口部分は補強金物にて緊結する。

5. 大梁柱もたせ部は、梁受け金物(ツメ付)を併用する。

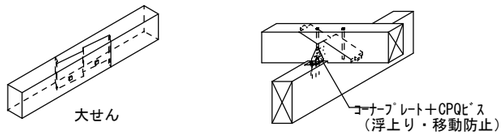
仕　口



T 字 仕 口　(A)　(B)

(かたぎ大入れ短ほぞ差し)

継　手



(追掛大せん継ぎ)　2階ばり継手（台持継ぎ）

(洋　風)

火打梁

材 種

□ ひのき　□ べいひのき　□ すぎ　□ ひば　□ べいひば　□ からまつ　□ べいまつ

■ 火打金物

工　法 火打梁は次のいずれかによる。

1. 木材の火打梁とする場合は、次による。

イ. 断面寸法は90mm×90mm以上とする。

ロ. 梁・胴差・桁等との仕口は、傾ぎ大入れとし、六角ボルト閉めとする。

但し、梁・胴差・桁等の上端又は下端に取付ける場合は、渡りあご又はすべりあごとし

いずれも六角ボルト締めとする。

2. 鋼製火打とする場合は、特記による。

3. 火打梁を省略する場合は、火打土台の項に準じる。

筋かい　耐力壁

材　種

□ すぎ　□ べいつが　□ 構造用合板7.5mm以上　□ 構造用パネル　■ パーティクルボード9mm以上　□ ハードボード5mm以上

□ その他　（　　）

□　筋かいによる耐力壁

木造筋かい　1. 断面寸法は45mm x 90mm以上とする。

2. 見付け平使いとし、上下端部の仕口は告示１４６０号に適合した方法とする。

3. 筋かいが間柱と取り合う部分は、間柱を筋かいの厚さだけ欠きとって筋かいを通す。

部　位

■　大壁造の面材耐力壁

1. 面材による耐力壁は、面材の種類により釘の種類・間隔が異なるので、告示1100号に適合していることを確認する。

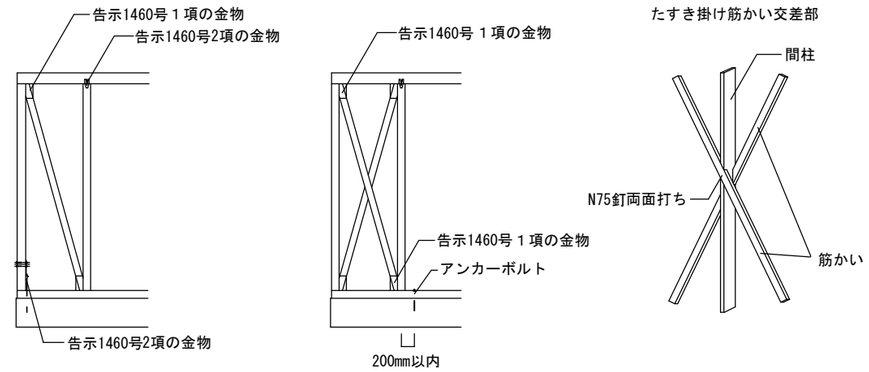
2. 柱と横架材の接合部は、特記なき限り　告示１４６０号による金物等により補強する。

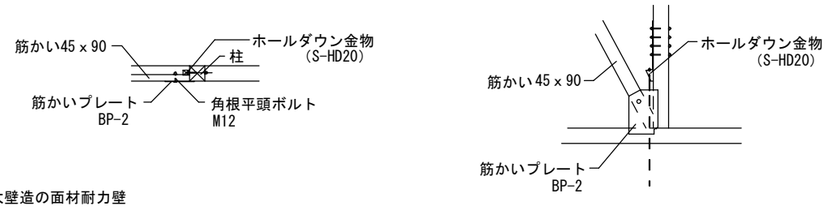
3. 構造用面材は横張り又は縦張りとする場合で、やむをえず、梁，柱等以外で継ぐ場合は断面は４５mm x １００mm以上とする。

4. 構造用合板については、屋外に面する壁、及び常時湿潤状態になる恐れのある壁には「特類」を使用し、「１類」は室内に使用する。

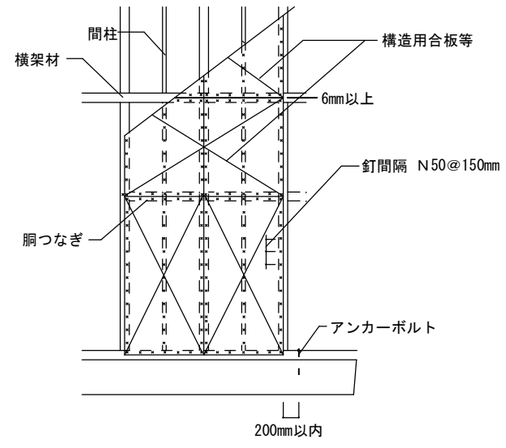
5. １階及び２階部の上下同位置に構造用面材の耐力壁を設ける場合は、胴差部において、構造用面材相互間に、６mm以上のあきを設ける。

□　筋かいによる耐力壁





■　大壁造の面材耐力壁

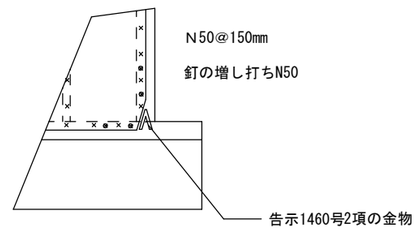


■　メーカー基準としている工法による

大壁造の面材耐力壁において、面材の四隅を切り欠いて

山形プレートを柱と横架材に直接釘打ちする場合は

下図のように近傍に釘の増し打ちをする。



工事名	株式会社はが建築社芳賀建築設計事務所	管理者	設計者	担当者	図面名	図面No.
あらぐさ福祉会様 第３クローバーハウス新築工事設計図	一級建築士事務所　埼玉県知事登録(10)第564号	芳賀　康三 一級建築士 登録第88273号	林　弘直 二級建築士 登録第27636号	林　弘直 二級建築士 登録第27636号	木造特記仕様書(3)	K-3
備考	HOMEPAGE : WWW.HAGAKEN.COM　EMAIL : info@hagaken.com TEL 048-722-6081　FAX 048-722-6082	日付 2020.02.22	日付 2020.02.22	日付 2020.02.22	縮尺　NO SCALE	